

研究協力のお願

昭和医科大学と日本鋼管病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

内側開大型高位脛骨骨切り術と外側閉鎖型高位脛骨骨切り術の術後膝筋力の比較検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年7月1日から2025年12月31日までに日本鋼管病院整形外科で高位脛骨骨切り術を行った患者さん。

2. 研究目的・方法

変形性膝関節症患者が高位脛骨骨切り術を実施し、術後の膝関節筋力の推移を検討することで、疾病の治療方法に対して新たな知見が得られるのではないかと考えております。高位脛骨骨切り術後を施行した患者さんにおける手術記録、筋力、関節可動域等の理学所見の解析を行います。とりまとめと解析は日本鋼管病院リハビリテーション技術科で行われます。高位脛骨骨切り術後の膝関節筋力を比較検討することで、リハビリテーションを進めるうえで新たな知見が得られると考えております。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年3月31日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

利用するカルテ情報：生年月日、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、身長、体重、手術記録

画像所見：膝関節単純X線、膝関節MRI

理学所見：膝関節可動域（屈曲・伸展）、等速性膝伸展・屈曲筋力（バイオデックスシステム4、酒井医療社製）

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は昭和医科大学において研究計画の立案を行い、日本鋼管病院にてデータ収集および解析を実施します。得られた情報は施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存するとともに、研究者のみがアクセス可能なように制限を設けたオンラインストレージ上でも管理します。外部機関への提供はいたしません。

6. 研究組織

本研究の主たる実施機関は昭和医科大学です。本研究は昭和医科大学において企画・立案し、日本鋼管病院での臨床業務と並行して実施します。

研究機関名 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
研究代表者・研究責任者：来住野麻美

研究機関名 医療法人社団こうかん会日本鋼管病院
研究責任者：臼井勇輔

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：日本鋼管病院リハビリテーション技術科、昭和医科大学大学院 保健医療学研究科

氏名：臼井勇輔

住所：昭和医科大学：神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865

日本鋼管病院：神奈川県川崎市川崎区鋼管通 1-2-1

電話番号：080-5035-9239